

# 「親子でカヌーを作って石狩川を下ろう」 活動組み立てフロー図

活動を進めるための仲間を集めよう

議論を進める座長・書記・連絡などの担当を決めよう

## 体験学習プログラムを立てよう

【ポイント】目的・ねらい・場所・日時・担当・予算・参加者の対象・参加の公募の仕方・用具の確保・レスキュー・危険予見と回避（下見・当日の安全会議）・無理な計画を立てないなど

【流れ】導入 展開 まとめ ふりかえり

教育の理想と現実に悩むでしょう。

## 川の活動の安全確保

危険予見と危険回避(石狩川リバーインテリジェントテキストのリスクマネージメントを参照しよう。)下見の実施(川下りの場合は、事前に川にある障害物・リバーリーディング・天候・水温などを確認し、下見時点の危険箇所回避方法を検討する図面を作成する。できるだけ多くの危険を予見することが大切である。)

### レスキュー体制の確立

レスキュー3 ジャンや石狩川リバーインテリジェントの有資格者などを中心とし、もしもに備え、レスキュー体制を組む。また、安全管理は必ず責任者を置き、事前に危険を回避するよう参加者並びにスタッフへの安全指導を徹底するとともに、責任者の指示に従い、安全を確保する。協議会で定めたリスクマネージメントは徹底する。(怠ると過失となるので注意する)

保険の加入：参加者のみならずスタッフも保険加入を行う。

### 製作時の安全確保

工具の使い方、整理整頓に十分事前の指導を行うこと。また、身体に害を及ぼす恐れのある化学薬品をや火気に注意が必要な作業は十分注意し、未然に危険を回避すること。

## 川の下りや安全訓練の場合の関係機関との関わり

河川管理者への使用届出(アクセス路の鍵・河川高水敷の占有者への事前の連絡)

消防と警察への届出(緊急時の対応・・・特に川であることから住所がないので、あらかじめ図面でわかりやすく届出を行うことが大切です。)

病院の把握：土日の活動の場合、休日の対応病院の連絡先を確認し、スタッフであらかじめ情報を共有する。